

こんなときは

新潟日報紙「健康」欄に読者の質問に答える形で連載

Q：生理痛ひどく、子供ができない

以前より生理痛がひどく、痛むのがいつも左側の下腹部です。痛みだすのは生理3、4日前からで、生理1日まで続き、あまりにせつないため、薬を服用しています。その害はないでしょうか。また左側だけ痛むことと、結婚して2年経つのに子供ができないこととは、関係あるのでしょうか。3ヶ月前から基礎体温を測っていますが、高温と低温の2極に分かれています。

(新潟市・27歳の主婦)

A：「子宮内膜症」で治療が必要

結婚して2年になるのに子供ができないのは、不妊症ですから専門的な治療が必要でしょう。基礎体温が高温、低温の二相に分かれているということは、排卵があると判断されます。

不妊症には、いろいろな原因がありますが、生理痛が強いこと、排卵があるのに子供ができないことなどから、子宮内膜症という婦人科的な疾患が一番考えられます。

また左下腹部の痛みは、左側の卵巣が腫れていることが考えられますので、専門医の診察を受けることをお勧めします。受診時には、基礎体温を持参することが大切です。

もし、子宮内膜症と診断されても、最近はやい薬がありますから、病態にもよりますが、飲み薬による治療が行われると思います。

このような一時的に基礎体温が不規則となったり、月経量が少なくなったり、無くなったりすることがありますが、薬の服用を中止すると、生理も元に戻りますので、心配いりません。子宮内膜症の治療を受けながら、不妊症の検査もできますから、早めに相談に行かれることが大切です。